

第9回教育支援コーディネーター・フォーラム(報告③)

第2部 教育支援コーディネーターと企業・団体との交流 (13時15分から16時まで)

□オープニング□ 13:15~13:45

(1) オープニングレポート

〇「ネットワークがあってよかった!つながった!実現した!」
地域教育推進ネットワーク協議会会員団体(企業・NPO等)の協力で実施している都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業、このプログラムを活用している二つの都立高校から、生徒、先生、そして校長先生からの報告で、第2部が開幕しました。



都立高島高等学校

実在する企業から出されるミッションに、グループで取り組みました。意見が行き詰まることもありましたが、平和で互いに認めあう世界にできるよう、笑いで世界を変える、笑いイノベーション=笑バージョンという提案を考えました。(生徒2名)
様々な外部のプログラムを活用してきたことで、生徒のコミュニケーション力の向上などの変化を実感しています。(教員)



都立田柄高等学校

学校が100あれば100通りの教育の形があるので、企業や団体の方には学校にあわせたプログラムアレンジをお願いしたい。コーディネーターには、異なる文化をもつ企業と学校の通訳として、良い連携をつくってほしいと期待しています。(校長)



香月よう子さん(フリーアナウンサー/フォーラム企画運営委員)による司会進行

(2) 主催者あいさつ



ネットワーク協議会 会長
松山英幸(東京都教育庁次長)



ネットワーク協議会 副会長
日比谷武(経済同友会「学校と経営者の交流活動推進委員会」委員長)

東京都教育施策大綱というものを、11月に策定をしたところでございます。この大綱というのは、平成29年度までの3年間を対象とした教育施策ということで、7つの大きな項目を掲げております。その中の1つに、社会的自立を促す教育の推進というものが入りました。

人はいろいろな仕事とか場所に接することで、成長していく。それもまた先生や、今日お集まりのような地域のコーディネーターの皆さまのご支援で、いかに場を作っていくかというのが大事だなということを感じております。私自身も今年30校ぐらいの学校にお邪魔しまして、生徒たちとさまざまな対話をしてきました。